

調和のとれた地域の活性化を

岩室村長 金子誠一



新春を迎えて

明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を皆様とともに心からお祝い
申し上げます。

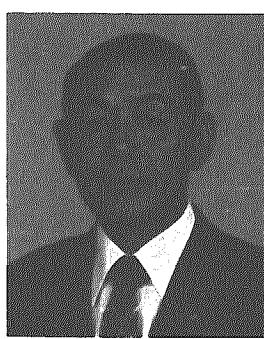
ご承知のとおり昨年は国の内外を問わず円
高不況をはじめ、政治・経済・社会と、あら
ゆる分野で誠に厳しい“試練の年”であつた
のではないでしょうか。このような深刻な諸
情勢の中で地方自治をあずかる者として、そ
の責任の重大性を感じながら多様化する行政
需要に応え、活力ある村政を進めることがで
きましたことは、村議会をはじめ村民の皆様
の深いご理解とご協力の賜と感謝しております
。迎える昭和六十二年も昨年と比べ、なお一
層厳しさが増す年と予想されますが、決意を
新たにして適正な村政運営をしていく所存で
す。
さて、今年は国の大行政改革最大の課題とい
われる国鉄の分割民営化をはじめ、抜本的な
も“ベッドタウン”的要素から住宅団地の造成を進めることが、「岩室に住んで本当に良かつた」といわれる地域づくりにつながるのではないかでしょか。

いずれにしても現在の長期構想との絡みの中で調整を図つていかなければならぬものであり、実現には容易ならない課題もありま
す。

■昭和六十二年／新年のごあいさつ

持てる熱意を傾注して

村議会議長 藍澤六郎



明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと
お喜び申し上げます。

日ごろ議会にお寄せいただいておりますご
理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、新しい年も昨年同様、国・地方を問
わざ行財政改革の推進が基本方針とされる極
めて厳しい状況にあることはご承知のとおり
であります。

本村も今後の経済見通しと政府予算、財政

投融資計画など国県の施策を適正に把握した

なかで、年々多様化している住民ニーズに対
応できる財政基盤の確立を図り、可能な限り
的確に対処できるよう努力しなければならぬ
と思っております。また、主要産業である
農業については、ポスト三期対策——いわゆ
る水田農業確立対策の初年度に位置づけられ
ており、食糧管理制度の見直しや抑制的な米
価水準への動き、農作物価格政策の見直しな
ど農業をとりまく情勢は楽観視できない現状

であります。

すが、皆様と力を合わせ岩室村の将来の展望
を考えるならば決して不可能ではないと確信
しております。

そのため「創造する岩室村」「活力ある岩
室村」を目指し、村のメインテーマである「夢
とやすらぎのある村づくり」の具現化に向け、
努力していくと思つております。

昭和丁卯歳元旦

何卒本年も変わらぬご支援、ご協力を賜り
ますよう切にお願い申し上げ、皆様のご健康
とご多幸をお祈りして、新年のごあいさつと
いたします。

持てる熱意を傾注して、充実した村政による

議会としてもこれらを厳しく受けとめ、合

理的かつ効率的な行政運営が図られるよう、

持てる熱意を傾注